

内外彙報

駿河台大学比較法研究所所長 千草 考雄

10月3日水曜日、13時20分から16時まで、AVホールにおいて、「戦争の記憶をどう伝えるか—映画『タリナイ』から出発して」というテーマで大川史織氏、今井勇氏を迎え、本学から山下尚一氏が加わり、シンポジウムが開催された。

1月22日水曜日には、熊田俊郎教授を報告者として、「中国法制史にえるギルド慣行調査について」というテーマで、研究会が開かれた。

比較法文化研究所が懸賞論文を公募し、それに応募した吉田稜（法学部）、大戸梓（現代文化学部）両君に優秀賞を授与した。